



日本最大の マンガライブラリー

米沢嘉博記念図書館
現代マンガ図書館

まんがとサブカルチャー内記コレクション


Yoshihiro Yonezawa Memorial Library of Manga and Subcultures
Contemporary Manga Library <NAIKI Collection>

よねざわよしひろ
米沢嘉博
マンガ評論家・
コミックマーケット準備会前代表



1953年熊本県熊本市生まれ。
明治大学在学中より批評集団「迷宮」の活動に参加。ライター・編集などを経て1980年より「戦後マンガ史三部作」を刊行、以後マンガ評論を中心に大衆文化関連の評論を行う。1975年第1回コミックマーケット創立メンバーの一人。1980年から2006年までコミックマーケット準備会代表を務め、現在の同人誌即売会コミックマーケットの理念を形作った。
1999年『別冊太陽 発禁本』（平凡社）刊行。この著作で第21回日本出版学会賞を受賞、2002年『藤子不二雄論（FとAの方程式）』で第26回日本児童文学学会賞受賞、2005年、第44回日本SF大会HAMACON2にて柴野拓美賞受賞。
2006年逝去。
2010年「マンガ研究の基礎資料の収集と評論活動などの幅広い業績」に対して第14回手塚治虫文化賞・特別賞を受賞、2011年「戦後エロマンガ史」（青林工藝舎）が、大衆文学研究賞（早乙女賞基金）大衆文化部門を受賞。

ないきとしお
内記稔夫
現代マンガ図書館
<内記コレクション> 設立者



1937年東京都神田生まれ。
貸本屋「山吹文庫」、新刊販売も行う「ナイキ書房」を開業。大衆文化を支えるマンガ本が散逸することを惜しみ、1978年に日本初のマンガ図書館「現代マンガ図書館—内記コレクション—」を設立。
広くマンガ文化の保存を目指し、貸本を始めとし、マンガ雑誌やマンガ単行本の収集、整理、保存に努める。なかでも昭和30～40年代に発行された貸本マンガの蔵書は充実。
1997年「現代マンガ図書館の設立と運営」に対して、第1回手塚治虫文化賞特別賞を受賞。
2009年にコレクションを明治大学に寄贈した後も館の運営に当たり、米沢嘉博記念図書館の開館準備にも携わる。
2012年逝去。

東京国際マンガミュージアム (仮称)

明治大学では、マンガ・アニメ・ゲームの複合的なアーカイブ施設となる「明治大学東京国際マンガミュージアム」(仮称)開設の計画を進めています。当館はその先行施設です。

利用案内

米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館 共通施設です

1 階展示室 無料
2 階展示室 有料 (要会員登録・身分証明書確認)
明治大学生・教職員は無料

■会員種別

1日会員 (18歳以上) ……	330円/1日
1日会員 (18歳未満) ……	110円/1日 (未就学児無料)
1ヶ月会員 ……	2,200円/1ヶ月
1年会員 ……	6,600円/1年

1日会員 (18歳以上) は、同人誌および1979年までに出版された資料の閲覧請求はできません。
1日会員 (18歳未満) は、開架資料のみ閲覧可能です。

■複写

白黒 ……	55円/1枚
カラー ……	110円/1枚

■事前予約

Webサイトの「蔵書検索」から資料の事前予約ができます。米沢嘉博記念図書館の書庫と現代マンガ図書館の資料は、前日17:00までにお申し込みください。米沢嘉博記念図書館の保管庫資料は、来館日の5開館日以前のご予約が必要です。



ACCESS

■住所
〒101-8301
東京都千代田区神田猿樂町1-7-1

■電話番号
03-3296-4554

■最寄駅
J R 御茶ノ水駅より徒歩7分
水道橋駅より徒歩8分
地下鉄/神保町駅より徒歩8分

■開館日
平日 (月・金のみ) 14:00 - 20:00
土・日・祝 12:00 - 18:00

■休館日
火・水・木、年末年始、特別整理期間



展示情報が充実!
◀ 米沢嘉博記念図書館
https://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/

いずれの館のHPからも共通の蔵書検索を利用できます

現在収集中の雑誌一覧あり!
現代マンガ図書館 ▶
<https://www.naiki-collection.jp/>

米沢嘉博記念図書館

YOSHIHIRO YONEZAWA MEMORIAL LIBRARY OF MANGA AND SUBCULTURES

整理済みの資料14万冊を所蔵。
1950年代～2000年代の資料を中心に、戦前・戦後のカストリ雑誌、学年誌、レディースコミック、成人向けマンガ本など、マンガ評論家としての米沢氏の興味を写し取ったような幅広いコレクションです。



マンガ単行本



アニメ誌



マンガ雑誌



貸本マンガ



マンガ評論・情報誌



同人誌



戦後大衆誌

どちらの資料も
閲覧室でご利用できます

現代マンガ図書館

CONTEMPORARY MANGA LIBRARY <NAIKI COLLECTION>

約27万冊の資料を所蔵。
コレクションの特徴のひとつ、昭和30～40年代に発行された貸本マンガ・赤本は約1万2千冊にのぼります。マンガ雑誌はバックナンバーだけでなく現在刊行中のものも収集しています。

2F 閲覧室 READING ROOM

会員は2階閲覧室で、マンガ雑誌、マンガ単行本、展示に合わせた資料などおよそ4000冊を手にとることができます。
資料の多くは閉架式で保存しています。窓口での申請、事前予約などで、ご希望の資料を閲覧室に取寄せて読むことができます。



1F 展示室 EXHIBITION ROOM

常設展では、両館の個性的なコレクションや米沢・内記両氏の紹介、貸本の頃からのマンガ本の実物を展示。年3回の企画展示では、原画展など、マンガやサブカルチャーにまつわる展示を目で見て楽しむことができます。入場無料。

概要

OVERVIEW

明治大学米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館は、日本最大級の蔵書数を誇るマンガ専門図書館です。
マンガ雑誌、マンガ単行本、同人誌、貸本などを館内で閲覧でき、一般の方にもご利用いただけます。
マンガ評論家の米沢嘉博氏の多彩なコレクションと、日本初の「マンガ専門図書館」を創設した内記稔夫氏のコレクション。共にマンガを日本文化の重要な潮流のひとつと捉えて資料を収集してきました。
明治大学は両氏の合計40万冊を超える資料を受け継ぎ、新しいマンガへの視点を提案する展示も行っています。
マンガ資料に出会える図書館で思い思いの時間をお過ごしください。

年表

CHRONOLOGY

青*内記氏
オレンジ*米沢氏
黒*両氏及び両館

1955 内記稔夫氏、貸本屋「山吹文庫」を新宿に開業

1972 明治大学理工学部にて米沢嘉博氏入学

1975 米沢氏を創設メンバーとして同人誌即売会「コミックマーケット」第1回開催

1978 内記氏、貸本業の蔵書を核に「現代マンガ図書館（内記コレクション）」を新宿区に設立

2004 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館展示「おたく…人格空間II都市」に米沢氏が代表を務める「コミックマーケット準備会」が出演

2005 同展示物や内記コレクションを核とする複合アーカイブ施設の構想が打ち上がる

2008 同展示物が明治大学に移管される。明治大学国際日本学部が設立され、マンガ等日本のポップカルチャーの研究教育開始

2009 明治大学、東京国際マンガミュージアム構想を公表、先行施設として米沢嘉博記念図書館を開館、新宿の現代マンガ図書館の運営を引き継ぐ

2010 米沢嘉博記念図書館にて「コミックマーケット」の見本誌の閲覧提供を開始

2021 新宿の現代マンガ図書館を明治大学駿河台キャンパスに移設、米沢嘉博記念図書館との複合運用を開始

